

第66回伝道研究会（12月9日）
「コンゴ伝道50周年以降の歩みと課題」

森 洋明

1966年9月に設立されたコンゴブラザビル教会は、2016年に設立50周年を迎えた。今回はその50周年以降の教会におけるさまざまな活動について報告を行った。特にコンゴ国内の各地に広がる拠点の様子や現地の文化や習慣を取り入れた新たな取り組みなどを紹介した。また教えが広がっていくなかで浮き彫りになってきた問題点などを指摘した。さらに、2021年10月1日出直したバゼビバカ・ピエール会長の葬儀の様子も報告し、これからのコンゴ伝道の方向性について言及した。

2021年度イスラーム思想研究会（12月18・19日）

澤井 真

科学研究費（B）「井筒俊彦の思想形成期における東洋思想とその学問的視座」（代表：澤井真）が主催するイスラーム思想研究会を、おやさと研究所を会場に開催した。

1日目には4つの研究発表、2日目には澤井真研究員の『イスラームのアダム—人間をめぐるイスラーム神秘主義の源流』の書評会を行なった。

研究発表の多くは、イスラームの神秘哲学であるイブン・アラビーの存在一性論に焦点を当てたものであった。近年、イスラーム思想研究を志す若手研究者が増えつつあるが、コロナ禍により、対面での研究会は約2年間まったく行なわれていなかった。東西の大学院生が、学術交流を兼ねた研究会に参加し

た意義は大きい。なお一行は、1日目の教会本部夕勤、2日目の教会本部朝勤を見学した。

連載執筆のねらいと執筆者紹介

「社会福祉からみる現代社会—天理教の社会福祉活動に向けて—」
深谷弘和

本連載では、社会福祉の視点から現代社会を捉え、改めて「社会福祉とは何か」という問いに回答していきたい。社会福祉をめぐっては、戦後福祉国家体制が整えられ、社会福祉の位置づけや規模が拡大する中、1980年代以降、「社会福祉から福祉サービスへ」という言葉に代表されるように、そのあり方は、日本だけではなく諸外国でも変化してきている。その一方で、国内では、少子高齢化や格差社会の進行、孤立問題など、社会福祉が対象とする社会問題は、多様化し、複雑化してきている。その中において、天理教内でも、従来の社会福祉活動に加えて、各教会において子ども食堂や、フードパントリー、一人暮らし高齢者支援など、新たに多様な活動が展開されてきている。そうした活動も参照しつつ、連載を通じて、社会福祉を通じて現代社会について探ってみたい。

深谷弘和（ふかや ひろかず）

天理大学人間学部人間関係学科社会福祉専攻講師。1988年奈良県天理市生まれ。立命館大学卒業後、立命館大学大学院社会学研究科博士課程修了。博士（社会学）。専門は、障害者福祉、精神保健、発達保障論。

天理大学おやさと研究所

2021年度公開教学講座のご案内

— 信仰に生きる『逸話篇』に学ぶ（7） —

【開催趣旨】

教祖のご在世時、道の先人たちは教祖から直接聞いたお言葉をしっかりと心に治め、生涯、自ら信仰を生きる心の指針としました。そうした教祖の逸話は、世代を超えて語り伝えられ、お道の信仰の支えになっています。

この公開教学講座では、『稿本天理教教祖伝逸話篇』における教祖の逸話を手がかりとして、お道の信仰世界の一部を明らかにしたいと思います。そこでテーマは、昨年度に引き続き、「信仰に生きる『逸話篇』に学ぶ」シリーズの7回目といたしました。

なお、今年度の公開教学講座は、すべてオンラインで配信することになりました。

第1回（オンライン配信中）永尾教昭所長
110話「魂は生き通し」

第2回（オンライン配信中）金子昭研究員
127話「東京々々、長崎」

第3回（オンライン配信中）尾上貴行研究員
130話「小さな埃は」

第4回（オンライン配信中）澤井治郎研究員
138話「物は大切に」

第5回（オンライン配信中）島田勝巳研究員
123話「人がめどか」

第6回（2月1日オンライン配信開始）澤井義次研究員
115話「おたすけを一条に」

おやさと研究所ホームページよりご視聴ください。